

# シルバーぎふ

書：足立正子会員(103歳)

第88号 令和5年1月10日発行

公益社団法人岐阜市シルバー人材センター  
理事長 田中康雄

〒500-8164 岐阜県岐阜市鶴田町3丁目7番地4

TEL 058-240-1245

FAX 058-240-0911

Eメール gifusc@sjc.ne.jp

URL <https://webc.sjc.ne.jp/gifusc/index>



## 第8回 シニアワークフェア

令和4年10月29日 みんなの森 ぎふメディアコスモス



開会式



女性委員会による星型ストラップ作り



手づくり小物販売



野菜販売



生涯現役!  
健康・生きがい・社会貢献

## 第88号 もくじ

第8回シニアワークフェア	1	就業現場訪問	5
理事長新年のごあいさつ・役員新年挨拶	2	生涯現役活躍人	6
第8回シニアワークフェア開催報告	3	笑顔の新入会員	6
役員活動報告	3	親睦会だより	7
女性委員会活動報告	4	定期部会紹介	8
女性のつどい報告	4	事務局だより	8
安全標語紹介	4	清掃奉仕活動	8
安全・適正就業委員会活動報告	5	あとがき	8





# 新年のごあいさつ



理事長  
**田中 康雄**

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、皆様には、日頃よりシルバー人材センターの事業運営等に格別のご支援とご協力を賜っておりますことに、心から厚くお礼申し上げます。

わが国では、令和2年の春から新型コロナウイルスの感染が周期的に拡大を繰り返し、特に昨年の7月から始まった第7派は、これまでにない大流行となりました。

こうしたコロナ感染の拡大によって当センターでは、会員数や受注件数、受注金額などにおいて大きな影響を受けました。

中でも会員数においては、令和2年3月末には2,016人と順調に増加して、センター設立後初めて2千人を超えました。

しかし、その後、コロナ禍の余波を受けて、令和3年7月には1,859人にまで減少することになりました。

当センターでは、このような事態に対処するため、理事会のご賛同を得て、新規入会者に対する「初年度会費無料キャンペーン(3年間限定)」や夫婦で会員になられた場合の「夫婦割」制度を、昨年4月1日から実施してまいりました。

その結果、これらの新たな企画が功を奏し、昨年の11月末現在の会員数は2,029人となり、短い期間で

コロナ禍以前のピーク時の水準までに回復することができました。今後は、会員の拡大はもとより、新たに入会された会員に喜んでいただけるよう、就業機会の拡大にも引き続き力を注いでいく所存であります。

また、今年、10月1日から新たに消費税に係るインボイス制度(適格請求書等保存方式)が開始されます。

現在、会員の皆様に支払われています配分金には、消費税が含まれています。個人事業主である会員が受け取ったこの消費税は、本来は会員が税務署に納める必要がありますが、会員のほとんどは年収1千万円以下であるため、免税事業者として取り扱われ申告納税する必要がありません。

しかし、インボイス制度が実施されると、センターは免税事業者であるシルバー会員から適格請求書が発行されないことから、消費税に係る仕入税額控除が認められないため、会員へ消費税を支払っても国に納めたことにならず、会員に支払っている消費税と同額を別途税務署にも納めなければならなくなります。

そこで、インボイス制度の開始に先立ち、センターでは、この制度について前回発行の「第87号・シルバーぎふ」等で詳細な内容を掲載するなどして、会員の皆さんに説明を行ってまいりました。

今後も引き続きセンターが安定した事業の運営を行うためには、是非、この制度をご理解いただきますとともに、今後、皆さんの一部負担などについても、ご配慮とご協力を切にお願いする次第であります。

最後になりましたが、新型コロナウイルスの早期収束と、皆様のご健康及びご多幸を心から祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

## 役員新年挨拶



田中専務理事

小川副理事長

田中理事長

安江事務局長

明けましておめでとうございます。

社会を支える担い手として、役員一丸となって会員拡大・就業機会の拡大に取り組んでまいります。今年もよろしくお願い申し上げます。

理事長	田中 康雄
専務理事	田中 和弘
理事	川島 聰
	細江 善一
	高崎 一吉
	高橋 幸治
	中島 正和
	本田 敏郎
監事	牧野 泰

副理事長	小川 欽市
事務局長	安江 稔子
理事	高見 方子
	児玉 洋子
	石田 絹子
	青木 由美子
	永塚 浩子
	大橋 美紀子
監事	三間 導雄





## 第8回 シニアワークフェア開催報告

令和4年10月29日(土)、みんなの森ぎふメディアコスモスにおいて「シルバーで健康・生きがい・仲間づくり」をテーマに、第8回シニアワークフェアが盛大に開催されました。

開会式は「みんなのホール」で行われ、田中理事長の開会のあいさつに続き、来賓の岐阜市副市長後藤一郎様から御祝辞を頂きました。岐阜県シルバー人材センター連合会会長浅野壽様ご紹介の後、テープクラッカーのテープがくもの巣状に高く広がるのを合図に、華々しく第8回シニアワークフェアがスタートしました。

考えるスタジオ1では、シルバー会員による「障子の張替え講習会」とシルバー人材センター職員による「入会説明会」が行われました。特に「入会説明会」では、31名の参加者があり21名の方が当日入会されるなど盛況でした。

考えるスタジオ2では、シルバー女性委員会による「星型ストラップ作り体験講座」が行われました。

また、みんなのホールでは、「キッズダンス」「ウクレレ&フラダンス」「会員の一芸披露」が行われ、いずれの会場も多くの市民の方々の参加があり盛況でした。

さらに、カオカオ広場では、会員の手作り小物、新鮮野菜、美濃市シルバー人材センターの焼き芋、岐阜市みどりのまち推進財団の花苗、岐阜グランドホテルのあんぱん・メロンパンなどの販売が行われ、多くの市民で賑わいました。

最後になりましたが、今回のシニアワークフェア開催にご協力を賜りました全ての皆様に厚くお礼申し上げます。

(実行委員会副委員長 高崎 一吉)



入会説明会の様子



障子の張替え講習会の様子



受付の様子

## 役員活動報告

令和4年8月17日

柴橋正直岐阜市長と浅野裕司岐阜市議会議長を訪問し、シルバー人材センターへの支援要請を行いました。



令和4年8月19日

ワークプラザぎふにおいて、地区組織役員研修会を開催し、役員及び班長が出席しました。



令和4年11月18日

(公社)蒲郡市シルバー人材センター視察

公益社団法人蒲郡市シルバー人材センターを訪問し、会員拡大、女性部会、DX化、広報戦略等について視察しました。





# 女性委員会 活動報告

「女性委員会」は、岐阜市シルバー人材センターの組織の中に位置付けられています。

センター設立当時(昭和56年)は男性会員141人、女性会員48人でしたが、令和4年11月30日現在では男性1,235人に対し、女性794人と女性会員の比率が増えてきました。これもひとえに、女性委員会の歴代の役員が「シニアワークフェア」や「女性のつどい」を開催するなどして、女性の入会を推進してきた結果であると思います。

女性委員会では、今年のシニアワークフェアで『星型のストラップ作り体験講座』を企画し、開催しました。

毎年、この講座を楽しみにしていただく方たちがいますので、女性委員会では「今年はどうな講座にするか」がいつも議題に上がります。「参加者が作りたいたいと思う物」「短時間でできる物」「手に入りやすく安価な材料でできる物」等条件を満たす物を選ぶのはとても大変ですが、今回は、色々な候補がある中で、『星型ストラップ作り』に決まりました。



講座の開催に向けて各地区女性委員とサポーターへの作り方講習を2回に分けて実施しました。

「ここがむずかしいねー」「かぎ針を使うと良いかも」「閉じ針で紐を通すと楽にできる」など、色々なアイデアを出しながら、各地区相互の親睦も深まり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

そして、シニアワークフェアの成功を祈る女性委員会の会員一同の気持ちも結束し、当日を迎え、女性パワー全開で力を合わせて各担当の仕事を全うして終えることができました。

当日は、参加者の皆さんの笑顔が溢れ、「楽しかったよ」「かわいいのができて嬉しい」「家でも作ってみるね」「来年もまた来たい」などいっぱい嬉しい言葉を頂きました。私たちも、参加者の作品が出来上がった時の満足そうなお顔を拝見することで、疲れも吹き飛び、終わった時には達成感や充実感で一杯になりました。

今年は、女性ばかりではなく、男性や親子連れや夫婦で参加していただき、老若男女、年代も幅広くて良かったと思いました。

皆様、ご協力ありがとうございました。

(女性委員会委員長 高見 方子)

## 女性のつどい

各地区女性のつどいを開催しました。

中央地区	12月 9日	ふれあいの館白山
東部地区	11月15日	東部コミセン
西部地区	12月 1日	西部コミセン
南部地区	12月 2日	南部コミセン
北部地区	11月30日	北部コミセン

## 安全標語紹介

令和5・6年度の安全標語が決定しました。

**「無理をせず 心乱さず 安全就業」**

8053 中島 正和さん 作

**「事故防止 心のゆとりと 慎重さ」**

6497 小澤 孝さん 作



# 安全・適正就業委員会 活動報告

安全・適正就業委員会は、委員10名で構成しており、年3～4回開催の委員会で安全・適正就業について協議・検討し、会員に周知を図っています。

また、安全就業推進大会や現場巡回(パトロール)の実施により、会員の安全就業意識の更なる高揚・向上を目指しています。

現場巡回では、安全・適正就業委員のほか各地区や職群の中から任命された安全対策員も巡回者として加わり、それぞれの作業現場での会員の安全就業への取組み状況を確認し「安全就業」をお願いしています。



令和3・4年度の安全標語として

- ・「**気を抜くな 家に着くまで 安全就業**」
- ・「**安全は 心の緩みの 防止から**」

を掲げ、全会員の安全就業を目指しています。

さて、令和4年度事故発生状況については、ご承知のように毎月発行のシルバー人材センターニュースに掲載されていますが、12月16日時点での事故発生

件数は、本人傷害9件(目標8件以下)、対人・対物3件(目標5件以下)、その他5件(前年度発生7件)となっています。

特に顕著な傾向として、本人傷害事故の多発が挙げられます。具体的な事故内容としては、GIFUTOの配布中やその他作業中の転倒による手・足・腰の打撲・捻挫・骨折などが目立ちます。

事故の原因はそれぞれ異なりますが、事故防止の要は標語にもあるように、気の緩み・油断/注意力・集中力欠如を如何に排除するか、できるかという精神面にかかっていると思います。換言すれば、安全就業に対する意識を常に持ち続けることだと思います。

私はそのための一つの手段として、作業開始前に自分も含む就業会員の安全就業ハンドブックの携帯を確認し、安全への意識付けを行うキッカケとするよう心掛けています。

一方、精神面を継続的に支えていくためには、先ず健康であることが重要です。睡眠を充分とるなど体調管理に留意し、更には体力維持・向上に努めながら、今後の事故発生ゼロを目指していきましょう。

(安全・適正就業委員会委員長 本田 敏郎)

## 就業現場訪問

### 柿農園の摘み取り作業

すばらしい好天の中での視察となりました。当日訪問させていただいた網代地区の柿畑の現場では、4人の作農隊の方が就業されていて、青空に柿の色がすごく映えていました。

柿の摘み取り作業は、全て手作業で行われます。手摘みで摘み取りした柿は、4Lサイズ(目方は300グラム以上)のものばかりで、本当に見事な柿でした。

1日に収穫する量は800～1,000個ですが、その内4割は商品として出荷できないそうです。商品として出荷できない柿をどうしているか尋ねたところ、ドライフルーツ又は柿ジャムなどに加工して利用しているとのことでした。それ以外のものは、イノシシの餌となっているそうです。

柿の摘み取りは、雨の日はできません。木のヘタを伝って水が入り、柿が腐るとのことです。だから、今日のような晴天は、摘み取りに最高の日でした。ここの柿は糖度14～15度ととても甘いそうで、収穫した柿は選別を経て、全国へ出荷されていきます。柿の収穫は、11月上旬から12月上旬までの約1か月間行われます。

取材した畑の柿の木は、樹齢約70年だそうです。作農隊の皆様に、また来年も柿の摘み取り作業の依頼がくるよう、これからもたわわに実ることを願っています。

(取材 児玉 洋子)





## 生涯現役 活躍人



北部地区 5947  
藍 川

山田 晃平 さん

### ●山田晃平さんと聞いて

お名前から強く連想したのは、シルバー作品展で展示の構成をさせていただいていることです。展示会



作品展設営の様子

場の机・パーテーションの配置、展示の順番、色合い、大きさなどのバランスを考えて並べられ、特に重視していることは、制作者

(写真、絵画、手作り作品など)の心、気持ちを考え、総合的に判断していると話されました。皆さんからは、毎年大変見やすく「ホッとする」と好評です。

### ●シルバーに入会して良かったことは

平成21年4月に入会(時間の有効活用と健康維持の為です。)

仕事をいただき、日常の生活にリズムができ、時間が有効に使え、健康にも気配りするようになりました。

一万歩を目標に歩くことにしています。以前は、岩井のかさ神さんから三田洞まで往復していました。

### ●シルバーや地域でどんな活動をしていますか

現在、東部グリーンセンターで計量業務の仕事をしています。また、パソコンクラブで活動しています。地域では、ボランティアで自治会長を継続してやらせていただいています。

また、地域のまちづくり協議会団体の事務局長を受け、活動しています。

### ●趣味は

40歳後半から油彩を始め、現在に至っています。少しでも上達できるよう、趣味の教室でデッサン教室を開講し、努力しています。

### ●取材を終えての印象は

山田さんの柔らかさはどこからと最後にお聞きしたら「お地藏さんの顔を描くと丸くなるよ」と笑顔を見せられました。

これからもご活躍を願っています。

(取材 川島 聡)

## 笑顔の新入会員



北部地区 9541  
藍 川

大野 徳子 さん

### ●入会のきっかけ

趣味で野菜を作っていたところ、知り合いの会員さんから野菜市に出してみたらどうかとのお話をいただきました。

それがご縁で、令和4年8月に入会して毎週金曜日の野菜市に参加させていただく様になりました。



販売の様子

### ●入会されてどう思いましたか

今までは、友達にあげたりしていましたが、野菜市に出すようになって趣味と実益も兼ね楽しく充実した日々を送っています。

野菜は葉物中心で、オクラ・モロヘイヤなどあまり他の会員さんが出されないものを10品目程納めています。また、残った野菜もシルバーで引き受けて無人販売してもらるのでありがたく思っています。

### ●大野さんとお会いしてお話を伺って

若い頃は、野菜作りなどあまり興味なかったのですが、今はとても楽しいとのこと。充実している様子が私にも伝わってきました。

野菜作りを通して自然と共に生活されていて、すばらしいと思いました。

これからもおいしい野菜をお客様に提供して下さるよう、ご活躍を願っています。

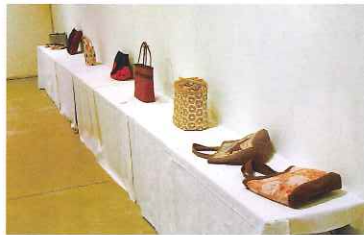
(取材 大橋 美紀子)



# 親睦会だより

## シルバー 作品展

令和4年11月24日、25日の2日間、みんなの森ぎふメディアコスモスみんなのギャラリーで、シルバー作品展が開催され、会員が丹精を込めた書、絵、小物などが展示されました。来場者も多数来られて熱心に観賞されていました。



## 料理教室

令和4年8月4日に「夏場でも食べやすい栄養バランスのよい料理」をテーマにドリームシアター岐阜で開催されました。



令和4年12月6日に「生地から手づくり! 簡単ピザと照り焼きチキン」をテーマに長森コミュニティセンターで開催されました。







\*\*\* 定期部会紹介 \*\*\*

月2回開催 **健康マージャンクラブ** 

飲まない、賭けない、  
吸わないをモットーに！  
楽しくボケ防止！



\*\*\*

**事務局だより**

新規採用  
職員紹介

右から  
業務臨時職員  
事務職員  
サービス提供責任者

森 幸子  
市川 竜也  
後藤 豊子



**清掃奉仕活動**

センターでは地域貢献活動の一環として、毎月20日にふれあいの館白山周辺の清掃活動を行っています。



**センターLINE QRコード**

※アプリLINEの登録は、スマートフォンが必要です。

岐阜市シルバー人材センターのQRコードを作成しました。今までの紙のシルバーニュースや就業情報に加え、今後データでも、就業情報、シルバーニュース、お得な情報などの発信を予定しています。センターからの配信専用になります。

スマホのカメラで読み取って下さい



**あいがき**

新年あけましておめでとうございます。  
会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。  
政府の新型コロナウイルス感染症対策が解除されたことで、社会経済活動は回復しつつあり、以前のような日常生活に戻りつつあります。しかし、新型コロナウイルス感染症がなくなった訳ではないので油断はできません。

ウィズコロナ社会においては、新型コロナウイルスとの共存が問題になってくると思われます。「過度に恐れず」しかし「油断せず」基本的感染症対策をすることが重要だと思えます。会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



事業部会長 高崎 一吉  
部会員 川島 聡  
部会員 児玉 洋子  
部会員 大橋 美紀子